

ヨルダン川を渡り、戦いのために準備をする

聖書：ヨシュア3:1—4:24, 5:1-10

- I. ヨシュア記第3章1節から第4章24節は、イスラエルの民がヨルダン川を渡った記録です：
- A. イスラエルの民は、彼らの神の契約の箱と、レビ人である祭司たちがその箱を担いでいるのを見たとき、自分のいる所を出発して、それに従いました——ヨシュア3:3, 6：
1. 箱は、三一の神の具体化であるキリストの予表でした——出25:10-22。
 2. 神の箱がイスラエルの子たちと共に行ったとき、三一の神が彼らと共に行き、先導し、こうして最初に水の中へと入りました——ヨシュア3:8, 11。
 3. 箱が祭司たちの肩の上にあったことが示しているのは、予表において、箱を担いだ祭司たちが三一の神と一つの実体になったということです——ヨシュア3:3：
 - a. 彼らと神は、ひとりの団体のパースン、すなわち、ひとりの団体の神・人でした。
 - b. 彼らが歩く中で、神が歩きました。神が歩く中で、彼らが歩きました。
- B. ヨルダン川は、キリストの死と復活を予表します——使徒2:23-24, 3:15：
1. 主の契約の箱は、民に先立ってヨルダンを渡りました——ヨシュア3:11。
 2. 箱がヨルダンに入ったこととヨルダンから出て来たことは、キリストの死と復活を示しています——ヨシュア3:15, 4:11。
- C. イスラエルがヨルダン川を渡ったことが予表するのは、信者の肉体の死ではなく、信者がキリストの死を経験することです。このキリストの死の中で、古い人は終結させられ、葬られます——ローマ6:3-6, ガラテヤ2:20：
1. 予表によれば、ヨルダン川はキリストの死を示しており、信者たちはその中へとバプテスマされました——ローマ6:3-4。
 2. イスラエルの子たちは、キリストの死を経過して、彼らの古い人を葬り、そしてキリストにある新しい人になりました——Ⅱコリント5:17：
 - a. 彼らは、良き地に入って、その地を彼らの所有として取り、カナン人に対する戦いに従事する用意ができていました。しかしながら、彼らは古い人の中では勝利を得ることはできませんでした。
 - b. 予表において、彼らはキリストの死の中で葬られ、それからキリストの復活の中で復活させられ、キリストにある新しい人になりました。それは、霊的戦いを戦うためでした——エペソ6:10-20。
 - c. わたしたちは認識する必要がありますが、わたしたちの古い人、わたしたちの天然の人は、霊的戦いを戦ってキリストを獲得する資格はありません。キリストの中で、わたしたちはもはや古い人ではなく、新しい人です——エペソ4:22-24。
 3. ヨルダン川を渡るときに信者たちがキリストの死の中へとバプテスマされることは、信者たちをキリストの復活の中へと導きます——ローマ6:3-6, コロサイ2:1

2 :

- a. 葬りの面において、バプテスマはわたしたちの古い人の終結です。
- b. 復活の面において、バプテスマはわたしたちの霊の発芽です。それによって、わたしたちはキリストの中で、神聖な命をもって生かされます——ヨハネ3:6, 15. ローマ8:10。
- c. 復活の領域の中で、わたしたちはキリストを、すべてを含む良き地として享受します。この良き地の中で、わたしたちは歩き、さらには根ざし、建造されて、神のエコノミーを完成します——ローマ6:4. コロサイ2:7。

D. イスラエルがヨルダンを渡って良き地に入ることは、イスラエルが良き地を所有し享受することと関係があります。これが予表するのは、信者たちがキリストにあるもろもろの祝福の豊富を実際的に経験するということであり、それはエペソ人への手紙の中で啓示されています——ヨシュア4:1。

E. イスラエルがヨルダンを渡った後に良き地に入ったことが予表するのは、信者たちが天上を占有するという経験です。そこには、サタンと彼の暗やみの勢力がいます——エペソ2:2. 6:12。

II. 十二の石がヨルダンから取り出され、別の十二の石がヨルダンの中に立てられました——ヨシュア4:3-9 :

A. ヨルダンから取られた十二の石は、新しいイスラエルの十二部族を表徴します——ヨシュア4:3-7。

B. それらの石がヨルダンの水から上げられたことは、死からの復活を表徴します——ヨシュア4:7 :

- 1. これらの十二の石はしるしであって、「復活させられた」新しいイスラエルが、死の水を渡ったことの証しになることを示しています——ヨシュア4:6-7, 21-24。
- 2. これは、信者たちがキリストと共に、死からの復活を経験することを予表しています——ローマ6:3-4。

C. ヨルダンの中に立てられた他の十二の石は、古い命と古い性質との中にあるイスラエルの十二部族を表徴します——ヨシュア4:9 :

- 1. ヨシュアはこれらの十二の石を、ヨルダン川の中の箱があった場所に立てました。これが表徴するのは、古い性質の中にあるイスラエルがヨルダンの死の水の下にとどまることを、主が願っていたということです。
- 2. これが予表するのは、信者たちの古い人がキリストの死の中にとどまるべきであるということです——ローマ6:6. ガラテヤ2:20. ピリピ3:10。

D. 二組の十二の石が表徴するのは、わたしたちの古い人が葬られたということと、わたしたちの復活させられた新しい人が三一の神と共に、一人のように生き、働いているということです。これは、エペソ第2章1節、4節から6節、15節、10節の啓示と一致します。

III. 証しの箱を担ぐ祭司たちは、ヨルダン川の底の乾いた地にしっかりと立ち、ついに民はすべてヨルダンを渡り終わりました——ヨシュア3:8, 13-15, 17. 4:10-11, 15-18 :

A. 箱を担ぐ祭司たちは、水の中へと入って行った最初の者たちであり、また水から上がって来た最後の者たちでした。彼らは、神の民がすべて渡るまで、川の底で待つ

ていました——ヨシュア3:17, 4:15-16。

B. 神は祭司たちを死の場所に置きました。それは、イスラエル人が命の地へと至る道を持つためでした——ヨシュア4:10 :

1. 川の底は、死の場所です。それは心地よくなく、あるいは魅力的でもありません。
2. 川の底で証しの箱を担ぐことは、大きな苦難です。
3. 主が探し求めている一群れの人々とは、ヨシュア記第3章と第4章の祭司たちのように、最初に水の中へと入る人たち、すなわち、最初に死の中へと歩いて入る人たちです——ヨシュア3:8, 17 :
 - a. 彼らは進んで、最初に十字架によって対処され、死の場所に立ちます。それは、召会が命の道を見いだすためです——Ⅱコリント4:10-12。
 - b. 神は最初にわたしたちを死の場所に置かなければなりません。そうしてはじめて、他の人たちは命を受けることができます——ヨハネ2:19, 12:24, Ⅰコリント15:36。

C. 使徒パウロは、死ぬことによって命を供給したので、次のように証しして、言うことができました、「こうして、死はわたしたちの中で働き、命はあなたがたの中で働くのです」——Ⅱコリント4:12 :

1. 使徒たちの働きとは、死が彼らの中で働き、それによって命が信者たちの中で働くという働きです——Ⅱコリント4:10-12。
2. 死がわたしたちの中で働いた結果は、すばらしいです。それは、他の人たちの中での命です——Ⅱコリント4:12。
3. 新契約の務めの真の働きは、働きをするという事ではなく、死ぬという事です——Ⅱコリント4:1, 3:8-9, 5:18。
4. 主の回復において、わたしたちは死ぬ必要があります。それは、命が他の人たちの中で働くためです。このゆえに、わたしたちの死ぬことが、わたしたちの働きです——Ⅱコリント4:12。
5. 「主は、あなたが彼のために働きを完成することを必要とされません。彼は、あなたが死ぬことを必要とされます。あなたが死ぬなら、命が他の人たちの中で働くでしょう。あなたは死ぬことによって、他の人たちに命を供給するでしょう。ですから、わたしたちの働きは死に渡されることです」——コリント人への第二の手紙ライフスタディ、第33編。

IV. イスラエル人は取り扱われ、訓練され、資格づけられていましたが、ヨルダンを渡った後も、攻撃する前に、依然としてさらなる準備を必要としていました——ヨシュア5:1-10 :

- A. ヨルダン川を渡ることは、カナンの子孫の七つの部族に対して戦うためでした——ヨシュア4:12-13。
- B. ヨシュアはヨルダンを渡るという奇跡にあずかっていたとき、強められ、先導して悪鬼的なカナン人に対して戦いました——ヨシュア3:6-7, 10, 4:14。
- C. エホバはヨシュアに、「再びイスラエルの子たちに二度目に割礼しなさい」と命じました——ヨシュア5:2 :
 1. 割礼の目的は、神の選ばれた民を新しい民とならせて、神の約束された地を受け

継がせることでした——参照、創17:7-12。

2. 新しいイスラエルを割礼することが予表するのは、キリストの死によって成就されたキリストの割礼が、信者たちに適用されて、彼らに肉の体を脱ぎ捨てさせ、復活の中でキリストを、神によって彼らに割り当てられた分け前として受け継がせるということです——コロサイ2:11-12. 1:12。
3. 霊的な割礼は、キリストの死の中にある葬りの継続です——ローマ6:3-4：
 - a. ヨルダン川を渡ることを通して、古いイスラエルは葬られ、新しいイスラエルが出て来ました。これは、神によってなされた客観的な働きでした。
 - b. イスラエルの子たちが割礼されたことは、ヨルダン川を渡ったことにおいて神がなされた事を、彼らが実際的に適用することでした——ヨシュア5:2-9。
4. 新約において、霊的な割礼は、キリストの死をわたしたちの肉に絶えず適用することです——ピリピ3:3. コロサイ2:11：
 - a. 事実においては、わたしたちはキリストの死の中へとバプテスマされ、彼と共に葬られ復活させられましたが、実行においては、わたしたちは依然として、その霊によって、日々、十字架の割礼をわたしたちの肉に適用しなければなりません——ローマ8:13. ガラテヤ5:24。
 - b. これが、キリストの死と葬りの中にとどまることの実際と実行です。
- D. イスラエルの子たちはギルガルに宿営し、エリコの平原で過越を守りました——ヨシュア5:10：
 1. 過越の祭りが守られたのは、エホバがイスラエルを、彼らの初子に対する死の裁きから贖ったことと、エホバがイスラエルをエジプトとパロの暴虐から救ったこととを、記念するためでした——出12:3-7, 11-14. 14:13-30。
 2. 過越を守ることが示していたのは、エホバがイスラエルをパロとエジプトから救ったように、エホバがカナンの諸部族を滅ぼして、イスラエルを彼らから救い出すということでした——ヨシュア5:10。
 3. イスラエルが過越を守ることは、信者たちが主の食卓を守って、主を彼らの贖い主また救い主として記念することを予表します——マタイ26:26-28。